

# 地質 ニュース

昭和 59 年 4 月 第 356 号 1 9 8 4

地質調査所における地下水・地下ガスによる 地震予知研究の概要 (その1)	..... 地震予知・地球化学的... 研究グループ	6
エルズルム (トルコ) 雑感	..... 加藤 碩	25
コンピュータを用いた坑井情報の処理と表示	..... 矢野 雄策	28
珍しい「井戸掘絵額」を見て	..... 村下 敏夫	36
会話型データ処理—その12— GEOCAPSでのデータ処理の手順(1) ——処理条件の設定	..... 吉井 守正 ..... 佐藤 岱生	40
もう一つのヘリウムとメタン (その3)	..... 福田 理	50
地学と切手	..... P. Q.	49
長万部 OSHAMAMBE	..... 久保 和也 ..... 石田 正夫 ..... 成田 英吉	59
口 絵 偏光顕微鏡で見る岩石	..... 服部 仁 ..... 正井 義郎	

## 編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

### 表紙の写真

#### 北松浦の普通輝石かんらん石玄武岩

長崎県北松浦郡吉井町乙石尾産の普通輝石かんらん石玄武岩の薄片を偏光顕微鏡直交ポラーの下で撮影したもので、同じ範囲の視野でステージを約10度回転した状態が口絵写真②—<1>に示されている。

この岩石は肉眼的には暗黒色で、径2~3mmのあめ色のかんらん石と黒色の輝石が斑晶として浮き出ている。また、斑晶と石基の区別がはっきりし、斑晶は一般に大型で、径0.7~3mmのかんらん石、普通輝石、斜長石である。石基は細粒・完晶質で、斜長石、普通輝石、かんらん石、鉄鉱及び少量のアルカリ長石からなる。斑晶のかんらん石は鮮やかな干渉色を示すのが特徴であり、結晶の周縁や割れ目に沿って淡黄緑色の変質鉱物が生じている。

この岩石は、北松浦地域のアルカリ岩系のかんらん石玄武岩として良く知られており、柱状節理の巨大岩柱として地質標本館前庭に陳列されている(西武道路株式会社提供)。

吉井町乙石尾付近では、柱状節理の著しく発達した厚さ約10mの溶岩流である。この地区は、休止期を挟んで数回の噴火活動があり、溶岩と火砕岩が累重しており、全体の厚さは100mである。この岩石は、これら溶岩流の中の一部である。また、北松浦地域玄武岩のK-Ar法による全岩年代は10.3~7Maが得られている。なお、本産地近くから地球化学的標準岩石試料JB-1の原石が採集されている。

### 5月号予定目次

三宅島(1983)溶岩温度測定
昭和59年度の地質調査所の研究 ——特別研究——
ゴビの大地で
モロッコの地質と鉱物資源
会話型データ処理 (その13) GEOCAPSでのデータ処理の手順(2)
アルゼンチンの地質機関と地質鉱床概説